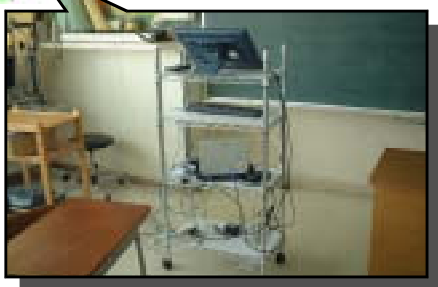


# 国際交流3種の神器 もの PC 英語

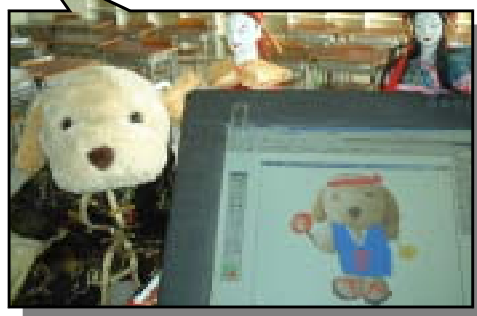
金沢市立大徳小学校 清水和久 kshimizu@spacelan.ne.jp



Photoshop elements  
ワコム液晶ペンタブレット



JEARN  
テディベアプロジェクト



## おもな話の内容

小学校4年で台湾との交流でテディベアを送りあい、その服装を互いにパソコンでデザインし、交換しあいました。また英語の授業の一環としてTV会議を使い互いに英語でクイズを出し合って楽しんだよ……というお話。

これを聞けば国際交流のノウハウがわかります！



エレメンツで着せ替えごっこ  
ができるの知ってた？。

みんなでデザインしたものが実  
際の服になるところなのだ！  
台湾へGO!!



# 台湾とのTV会議で クイズ大会



お互いの遊びや興味あることが話せたらベストであるが、語彙数も十分ではないので、事前に現在習っている英語の表現をお互い伝え合い、その表現を使っのクイズを出すことにした。向こうとの事前打ち合わせ内容

- 1) システム
- 2) 打ち合わせの段取り(チャットで)
- 3) クイズ内容の決定
- 4) 切れたときの対処

(実際の内容)

Which is bigger ?など簡単な問題を8問ずつ出しお互いに出し合いました。答えは赤か青かの2通りで答えます。

## 実践のまとめ

国際交流を「もの」「パソコン」「英語」の側面からまとめると・・・

### ものの利用

「ものの利用」について言えば、自宅のテディベアが外国に行ってまた帰ってくるという体験。実際に外国からぬいぐるみが送られてきて、それを自宅に持って帰り、デジカメで撮影するという体験。この具体物を通して外国とのつながりを肌で感じたのではないだろうか。また一緒に送られてくるお菓子には目がなく、食べ物は動機付けには最大の武器である。

### PCの利用

「パソコンの利用」であるが、テディベアのデザインを考える段階で、友達のデザインを自分のデザインに加えるなど協同で作ることの楽しさを感じた。また、同じテディベアを使った台湾の子供たちのデザインと比べることによって台湾の児童のセンスを感じたり、今後のWEB上の協同作業の可能性も感じたりしたのではないだろうか。今回は1部の子は液晶ペンタブレットは使ったが、直接液晶画面にかけるので、マウス操作と違い違和感は全くなかった。また、台湾で作ったパワーポイントのクイズは何の手を加えることもなく、日本でも見ることができ、まさに共通のパソコンという道具を使っの協同作業の可能性を感じることができた。

### 英語の利用

「英語の利用」では、日頃学んでいる英語がアジアの台湾の子供と話す場合にも役に立ち、必要であることを肌で感じる事ができた。正しい発音も必要であるが英語が伝わらないときには、身振り手振りも加えた「伝えたい」という意志が重要なことも感じたと思う。

子どもたちが大きくなって、外国の人と仕事をした時に、「そういえば小学校の時に一緒に交流したよね」なんていう言葉がでてくれればと願っている。4年なので高度の交流はできないが、使う英語の表現が事前にわかれば十分可能である。小学校の時の国際交流の原体験は将来の国際紛争を防ぐ手だてとなり得るのではないかと思っている。